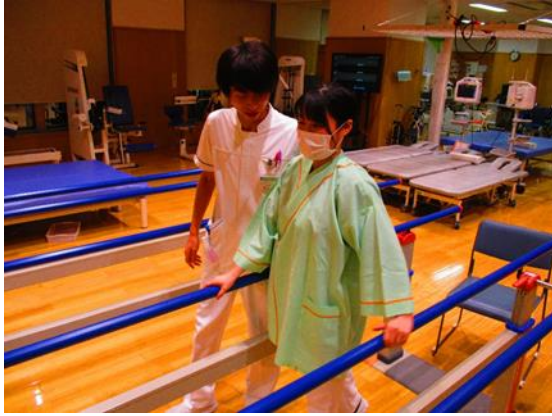


【理学療法士】

◎主な配属先、業務内容

■ 出先機関

県立病院



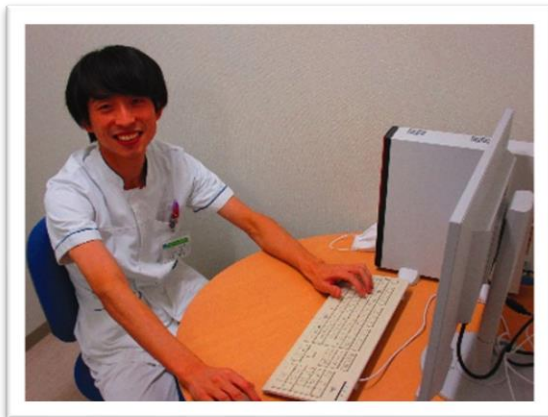
- 怪我や病気により、身体に障害や不自由を抱えた患者さんに対して医学的リハビリテーションを行い、社会復帰の支援を実施

こども療育センター

- 運動の遅れや障害があるお子さんに対して、運動機能の向上や日常生活の支援を目的とした理学療法を実施



【理学療法士】平成30年度採用



県立病院

井上 智生

(茨城県立医療大学 医療学部理学療法学科 卒業)



【主な担当業務】

- 患者さん一人ひとりの身体機能や認知機能、基本動作、日常生活動作、歩行の評価
- 早期から身体機能の改善を促し、基本動作・日常生活動作・歩行などの理学療法を実施

◎ある一日のスケジュール

8:30 業務開始、 朝礼	8:40 カルテから情報収集、スタッフ間でのミーティング	9:00 リハビリ室、病棟での理学療法	12:00 昼休み	13:00 リハビリ室、病棟での理学療法	16:00 病棟カンファレンス参加	16:30 カルテ記入、書類作成	17:15 業務終了
---------------------	---------------------------------	------------------------	--------------	-------------------------	----------------------	---------------------	---------------

◎福井県職員を志望した理由

県外の大学に在学中、帰省の度に改めて福井の良さに気が付き、漠然と戻ってこようと考えていました。4年生になり、就職を考えたときに、**生まれ育った地元に貢献したい**なと思い、福井県での就職を決意しました。**福井県立病院は診療科も多く、幅広い症例の方と出会い、自分の好きな分野を見つけていけると**思い選択しました。

◎仕事をはじめて感じていること、やりがい

現在急性期分野の理学療法士として働いています。県立病院は三次救急医療機関であり、患者さんの病態も変わり続けるため、**現場では理学療法士としての知識だけではなく、幅広い医学的知識とリスク管理が求められます**。また入院される患者さんの疾患も多岐にわたり、現在も自分の知識や技術不足を痛感する場面があります。そんな中で、**担当した患者さんやご家族の方から笑顔で感謝の言葉をかけていただく**場面も少なからずあり、自分の中で仕事のやりがいになっています。**少しずつ、新しい知識を得て、より質の高いリハビリテーションを提供できるようにしていきたい**です。

◎採用試験対策

試験は一般教養、専門科目と面接がありました。専門科目は国家試験に沿った形式で問題が出題されるため、国家試験の対策で対応できると思います。一般教養は出題範囲が広いため、過去問をこなして問題に慣れるようにしました。**本番は時間もないため、できる問題から解き進めるといい**と思います。当時は実習中で時間もなかったため、面接練習は知人同士で志望動機などの基本的な質問に答えられる程度の対策は行いました。

◎後輩たちへ一言

多種多様な業務や知識を要求されるため大変なこともあります。しかし、**規模が大きい病院が故に地元の方多くの方と関わることができ、知識や技術以外にも学べることは多い**と思います。**経験豊かで優しい先輩方が多いこと、福利厚生面がしっかりしていること**も県立病院で働くことの強みだと思います。